

機器交換時のバックアップ&リストア(復元)方法 (「データ管理の達人」利用者)

1. 概要

本マニュアルは、機器交換時の達人シリーズのデータ移動方法について説明します。

2. 注意点

以下の条件下では、リストア(復元)が行えません。

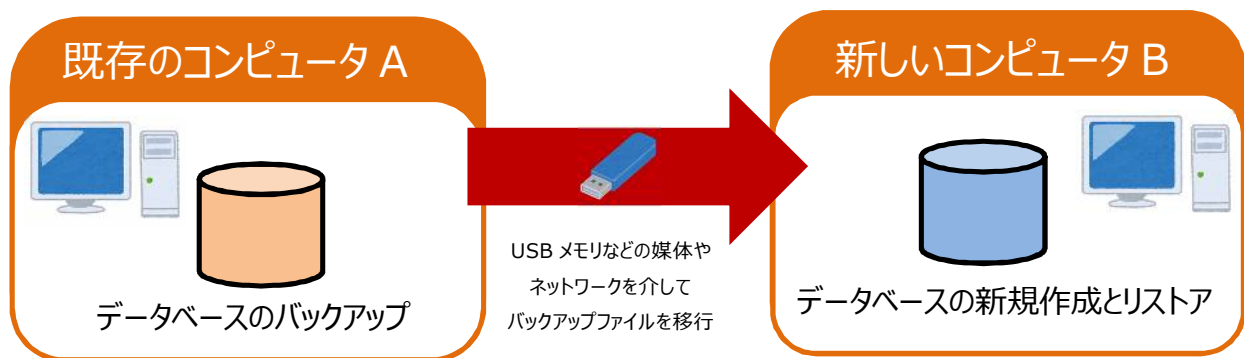
インストールしてある SQL のバージョンが、交換前の機器より交換後の機器が古い。

旧→新：SQL 2005→SQL2008→SQL2008R2→SQL2012→SQL2014→SQL2016

ただし、基本このような状態は特殊事例となりますので、以降で行うリストア時に、何らかのエラーが表示された場合はご相談下さい。

3. 作業の流れ

まず既存のコンピュータ A で作成したデータベースのバックアップファイルを出力します。次に、そのバックアップファイルを新しいコンピュータ B で作成した新規データベースにリストア（復元）するとデータを移行できます。



4. バックアップ方法（交換前の機器で行います）

「データ管理の達人」を利用して、HDDにバックアップを取得します。

※ バックアップ処理を実行する前に！！

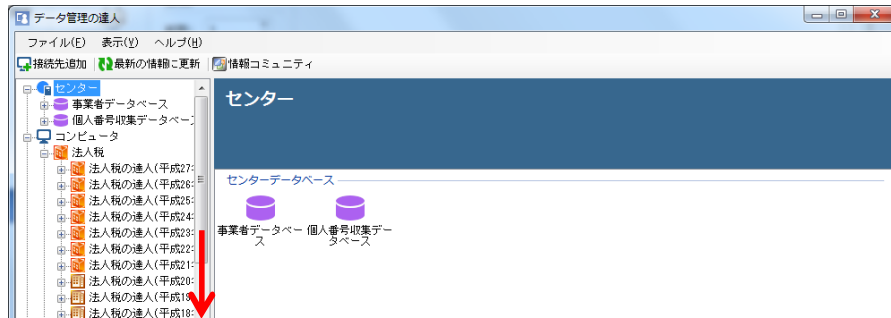
達人システムの業務プログラムは、全て終了して下さい。（業務使用中はできません。）

タスクバーにも、業務プログラム名が表示されていないことをご確認ください。

(1) 「達人 Cube」を起動し、【データ管理】をダブルクリックして下さい。



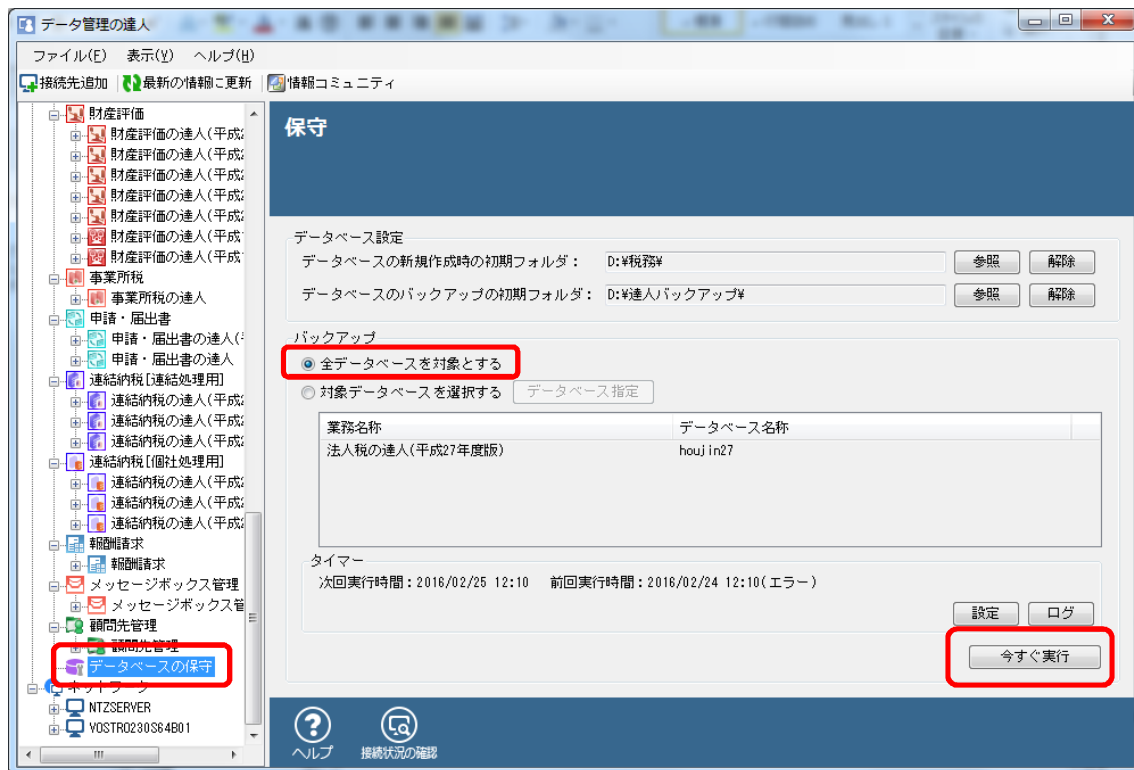
(2) 画面左側のスクロールバーを一番下まで移動して下さい。



(3) 画面左下の【データベースの保守】をクリックして下さい。

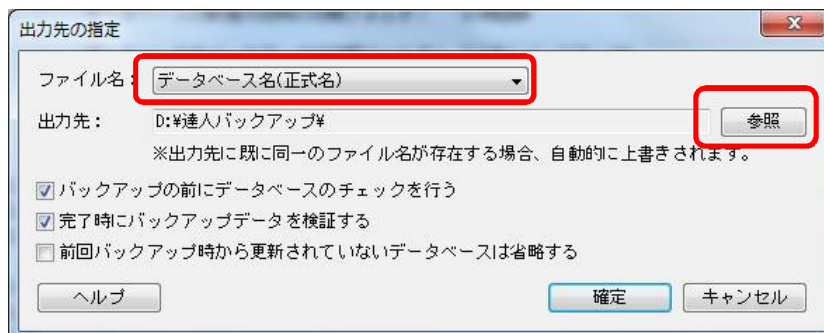
「全データベースを対象とする」にチェックがついていることを確認して下さい。

【今すぐ実行】ボタンをクリックして下さい。

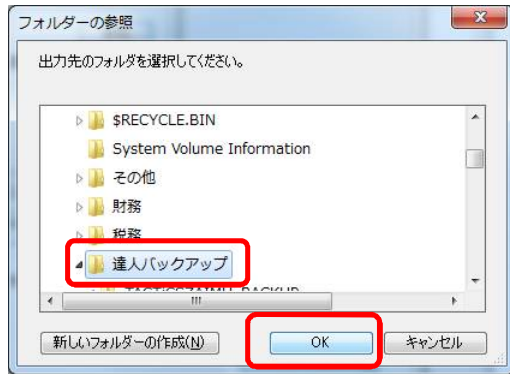


(4) 「ファイル名」は「データベース名(正式名)」を選択して下さい。

出力先の右側の【参照】ボタンをクリックして下さい。



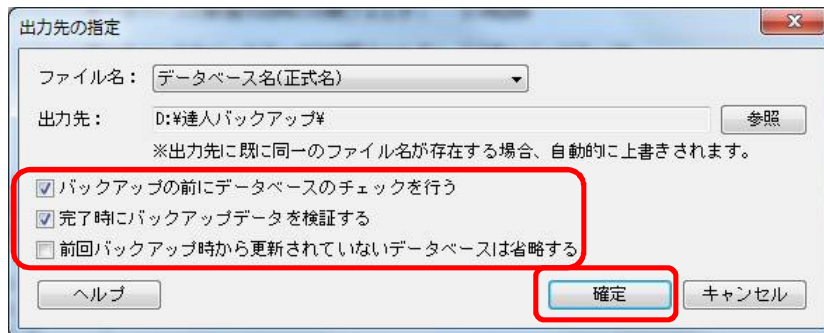
(5) バックアップ先のフォルダを選択してから、【OK】ボタンをクリックして下さい。



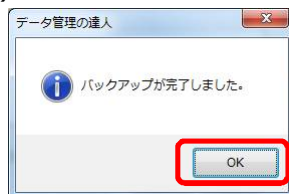
！！バックアップを保存する場所を指定して下さい。

(6) 以下のチェックの有無を確認してから、【確定】ボタンをクリックして下さい。

- ・バックアップの前にデータベースのチェックを行う：チェック有り
 - ・完了時にバックアップデータを検証する：チェック有り
 - ・前回バックアップ時から更新されていないデータベースは省略する：チェック無し
- バックアップが開始されます。



(7) バックアップが完了すると、以下の画面が表示されます。【OK】ボタンをクリックして下さい。



(8) つぎに、取り出し可能な媒体に、コピーを行って下さい。ネットワークで該当機器にコピーすることもできます。

5. 新しいコンピュータに [達人 Cube] [SQL server] [業務ソフトウェア] をインストールする方法

(1) 達人 Cube のインストール

- ① Web ブラウザを起動し、検索バーに「達人 Cube ダウンロード」と入力して検索します。
- ② [「達人 Cube ダウンロードサイト」](#)にアクセスし、【達人 Cube ダウンロード】をクリックします。
- ③ インストール時に『達人シリーズ ライセンス証書』に記載されたプロダクトコードを入力して下さい。

(2) SQL server のインストール

- ① 「達人 Cube」にログインし、【アップデート】をクリックします。
- ② アップデートコンテンツの【その他】をクリックし、【更新情報取得】をクリックします。
- ③ 【SQL2014 セットアップ】をクリックして選択し、【アップデート】ボタンをクリックします。
- ④ 画面に表示された設定は変更せずに【次へ】をクリックして画面を進め、【インストール】ボタンをクリックします。
- ⑤ インストールが完了したら、「達人 Cube」の右上にある【×】をクリックしてから【終了】をクリックし「達人 Cube」を終了します。
- ⑥ 再度「達人 Cube」にログインします。
- ⑦ 「達人 Cube」の右側にある SQL Server のサービスが開始されていることを確認します。

(3) 業務ソフトウェア のインストール

- ① 「達人 Cube」の左側にある【アップデート】をクリックします。
- ② アップデートコンテンツの【達人シリーズ】をクリックし、【更新情報取得】をクリックします。
- ③ インストールしたい業務プログラムをクリックして選択し、【アップデート】をクリックします。
- ④ 画面の指示に従いインストールを行います。



6. リストア方法（交換後の機器で行います）

※ここでは法人税の達人（平成 27 年度版）のリストアを行っています。他のプログラムも同様のやり方でリストアし

て下さい。

- (1) 「達人 Cube」を起動し、【データ管理】をダブルクリックして下さい。

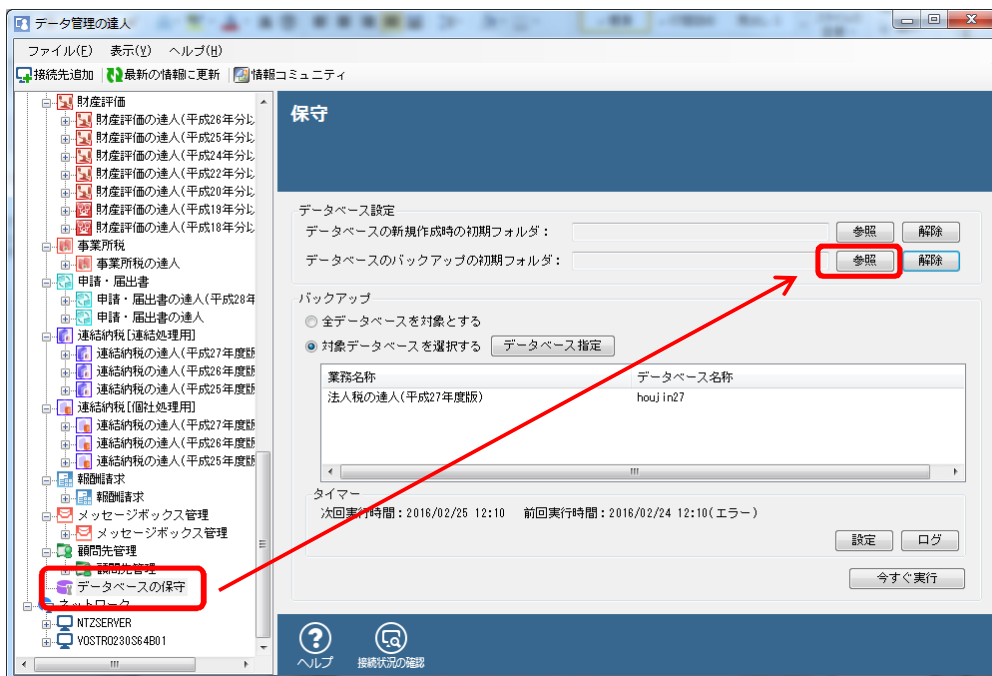


- (2) 画面左側のスクロールバーを一番下まで移動して下さい。

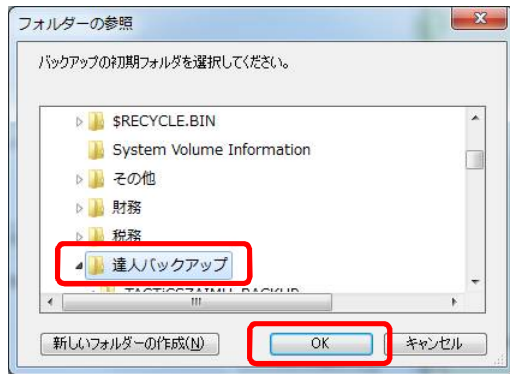


- (3) 画面左下の【データベースの保守】をクリックして下さい。

「データベースのバックアップの初期フォルダ」の右側の【参照】ボタンをクリックして下さい。

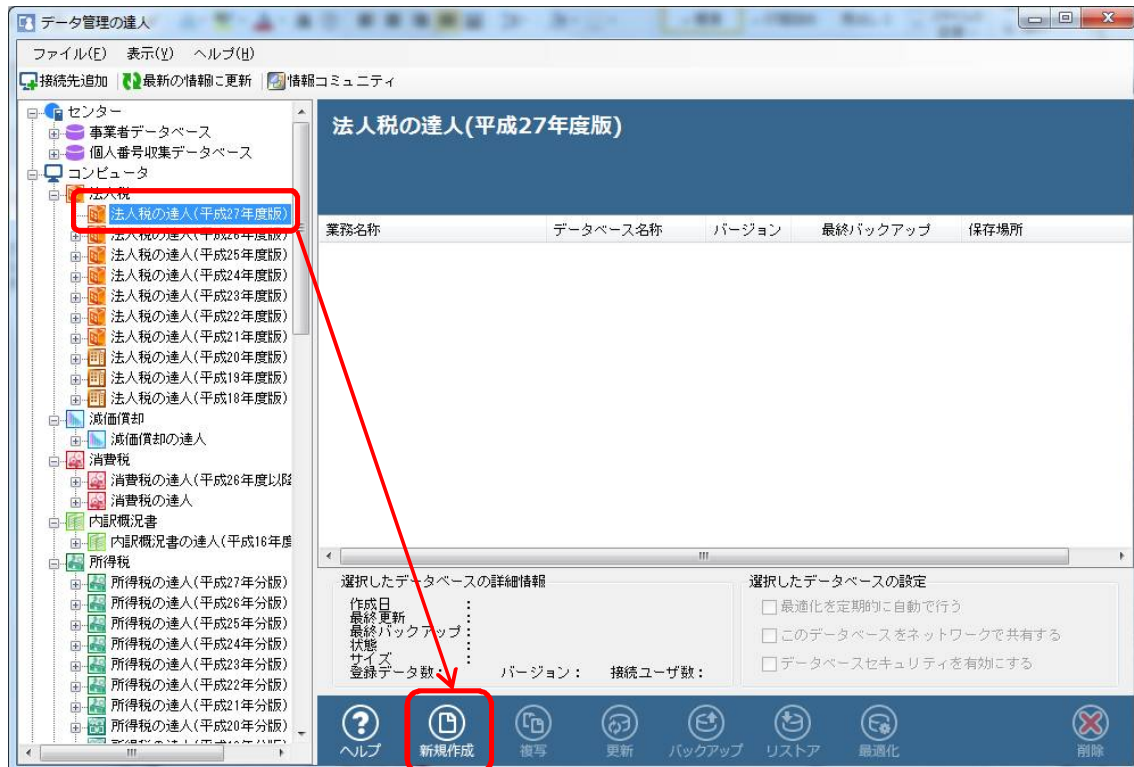


(4) バックアップファイルを保存してあるフォルダを選択してから、【OK】ボタンをクリックして下さい。



(5) 画面左側のリストアップするプログラム（法人税の法人（平成 27 年度版））をクリックして下さい。

【新規作成】ボタンをクリックして下さい。



(6) 「データベース名」を入力してから、【確定】ボタンをクリックして下さい。

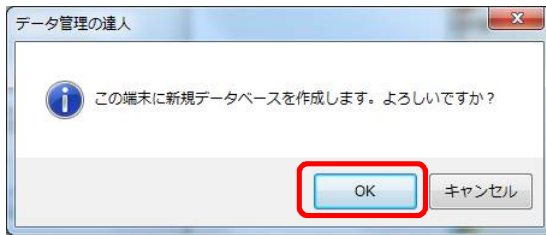
※データベース名は下表の名称を推奨しています。

	プログラム名	データベース名（推奨）	リストアップファイル名 (先頭二文字)
達人シリーズ	法人税の達人	houjinXX*	Hj
	減価償却の達人	genka	Gk
	消費税の達人	shouhizeiXX*	Sy
	内訳概況書の達人	uchiwake	Ug
	所得税の達人	shotokuXX*	St
	年調・法定調書の達人	nenchouXX*	Nc
	相続税の達人	souzokuXX*	Sz
	財産評価の達人	zaisanXX*	Zh
	事業所税の達人	jigyousho	Jg
	申請・届出書の達人	shinseiXX*	Fl
	連結納税の達人（連結処理用）	renketsuXX*	Rp
	連結納税の達人（個社処理用）	renkoXX*	Rc
	電子申告の達人	denshi	Ef
達人 Cube	顧問先管理	komonsaki	Ct
	報酬請求	houshuu	Om
	メッセージボックス管理	msgkanri	Mm
	消費税管理	shouhikanri	Sm

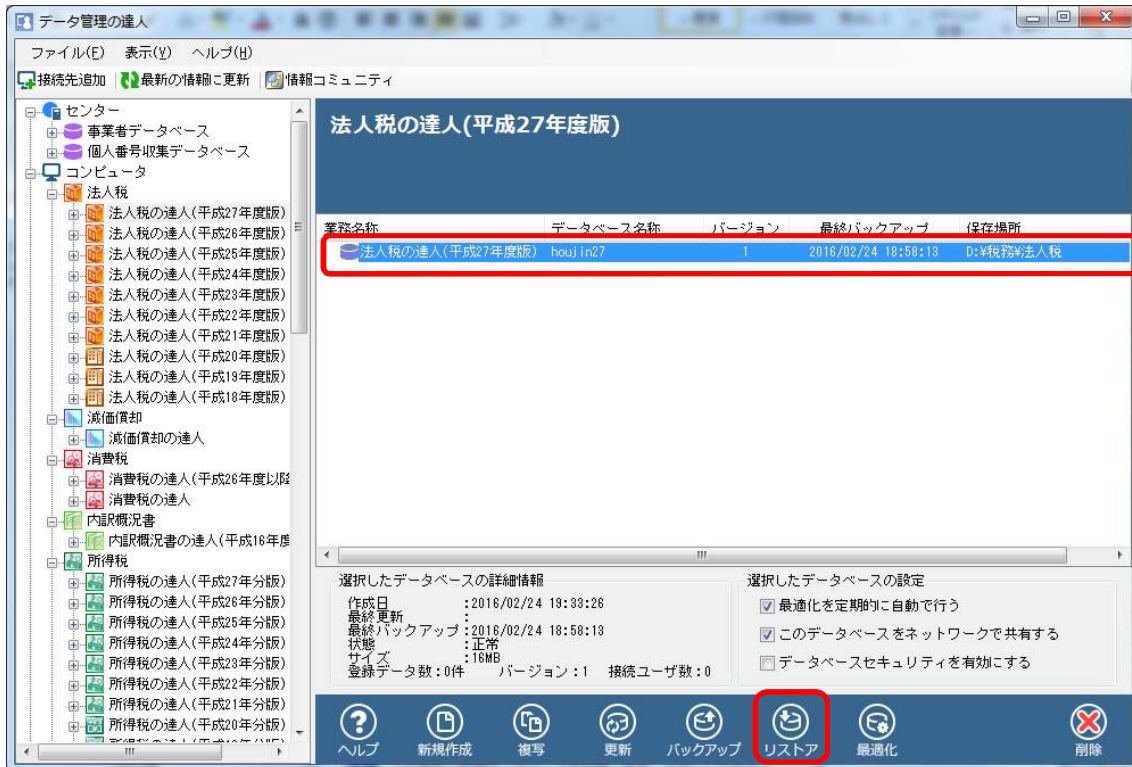
* XX にはプログラムの年度を付けて下さい。

(7) 【OK】ボタンをクリックして下さい。

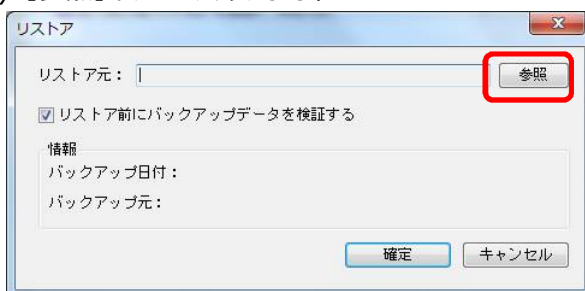
→データベースが作成されます。



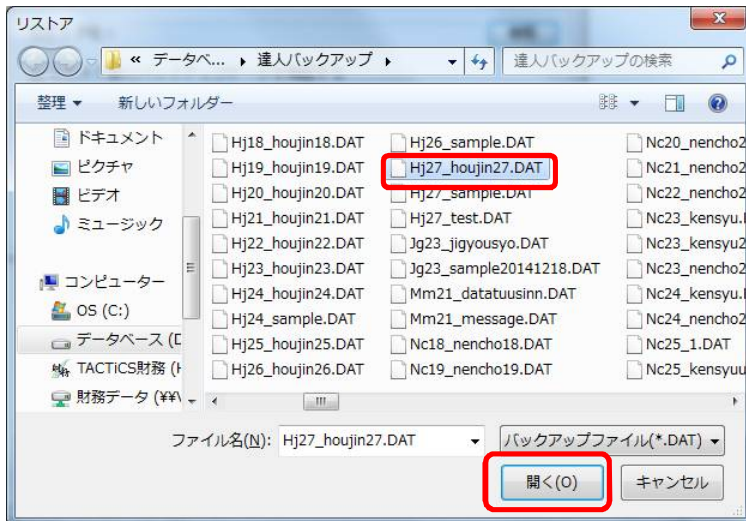
(8) リストアするデータベースをクリックして選択してから、【リストア】ボタンをクリックして下さい。



(9) 【参照】ボタンをクリックして下さい。



(10) バックアップファイルを選択してから、【開く(O)】ボタンをクリックして下さい。



※ファイル名の探し方

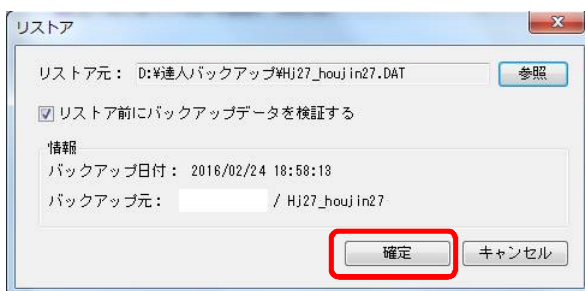
ファイル名の頭4文字が業務名を表します。

法人税の達人 27 年度分ならば、「HJ27」、同 26 年分ならば、「HJ26」となります。

減価償却は、「GK13」です。(⑥項の表参照)

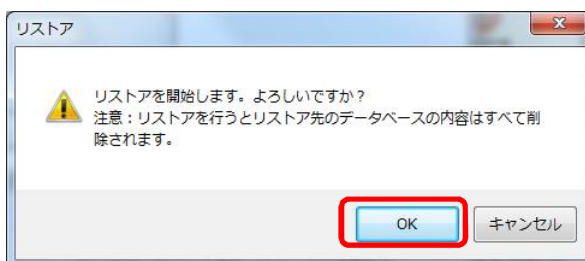
同一の業務が、複数ファイルがある場合は、以前の機器で複数のデータベースを利用していたか、重複してバックアップされているかです。バックアップ日付等でご確認下さい。

(11) 【確定】ボタンをクリックして下さい。



(12) 【OK】ボタンをクリックして下さい。

→リストアが開始されます。



コンピュータ A のデータをコンピュータ B に移行できました。

インストールされている全ての業務ソフトウェアで上記(5)からの作業を繰り返して下さい。